



発表します



読書活動



消火訓練



自転車教室



確かな学力

安心安全な学校

家庭や地域の協力の下で生徒が生き生きと取り組み、生きる力を育てます。

地域に学び地域に発信

心を育てる

中馬街道整備



中馬馬子唄踊り（1年）



地域ボランティア活動



陶芸（3年）



打囃子（2年）



ホタルの幼虫を放流

生徒会対面式で仲良く



給食センター掲示板

子どもたちと食について学んでいます

すべての幼稚園、小・中学校では、給食時間に栄養教諭、栄養職員が全クラスを訪問し、子どもたちと「食」について勉強しています。要請があった学校では、特別活動、家庭科などの授業にも参画しています。

今回は、その一例を紹介します。

6月 全校4年生 給食の時間 「かむことの大切さについて」

4年生は、国語・説明文の授業で「かむことの力」を学習します。子どもたちは「かむと脳の働きがよくなる」「消化を助ける」「歯が丈夫になる」など、かむと体に良いことをたくさん発表してくれました。



「こめかみ」といいます。動いているのが分かりますね。

7月 全校3年生 給食の時間 「おやつについて」

夏休みを控えて、おやつの意味や良いおやつの取り方について、給食の牛乳やデザート、実物の清涼飲料水などを参考にしながら勉強しました。

このグループの食べ物は、病気から体を守る働きがあります。



肥田小学校4年 特別活動 「給食の良さを知ろう」

食品は、その働きによって、赤色・黄色・緑色のグループに分けられること、給食には3つの色の食品がたくさん使われていることを知り、たくさんの食品を偏りなく食べることの大切さを勉強しました。

鶴里小学校5年 家庭科 「どうして多くの食品を取る必要があるのか学習しよう」

食品の3つの働きを理解し、給食と自分の食事を比較しながら、バランスの良い食事の大切さを勉強しました。